国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 24 年 5 月 18 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
ダーウィンにおけるガス液化プラントの起工式開催について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のINPEX Ichthys Pty Ltd社など豪州グループ会社を通じて仏トタール社子会社のTOTAL E&P Ichthys社とともにイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めておりますが、本日、ガス液化プラント建設予定地であるオーストラリア北部準州ダーウィン近郊にて、ガス液化プラントの起工式を開催しましたので、お知らせいたします。

本日ダーウィン近郊で開催された起工式には、オーストラリア連邦政府からギラード首相、ファーガソン資源・エネルギー・観光大臣や北部準州のヘンダーソン首相をはじめとするオーストラリア政府要人、日本政府から柳澤経済産業副大臣や佐藤在オーストラリア日本国大使、また本プロジェクトに関わる関連企業の要人等多数の来賓のご臨席のもと、ギラード首相他から本プロジェクトの重要なマイルストーンである今次起工式の開催について祝意が表されました。当社からは黒田代表取締役会長が出席しました。

起工式の様子



左：当社黒田代表取締役会長
中央左：ジュリア・ギラード連邦政府首相
中央右：ポール・ヘンダーソン北部準州首相
右：マイク・サングスター
　TOTAL E&P Australia 社マネージングダイレクター



柳澤光美経済産業副大臣

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

本プロジェクトは、西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNGおよび年間約160万トンの液化石油ガス（LPG）として生産・出荷するとともに、洋上貯油・出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する大規模なプロジェクトです。当社は、本年1月の本プロジェクト最終投資決定後、順次開発作業に取り組んでおりますが、本起工式により今後本格化する開発作業を着実に進め、2016年12月末までの生産開始を目指してまいります。

本プロジェクトのLNG生産規模が日本のLNG総輸入量の1割強を占める大規模なものであり、本プロジェクトの実現により、日本へのエネルギーの長期的な安定供給やエネルギー調達におけるリスク分散に一層の貢献ができるものと考えております。また、当社は本プロジェクトを推進するにあたり、周辺環境保全への配慮や地域社会の発展のための貢献を実践するとともに、大規模な投資を行うことにより、エネルギー資源大国の一つであるオーストラリアの社会・経済全体の発展に寄与し、日本との二国間の友好関係の更なる増進に資するものと期待しております。

当社は、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを遂行してまいります。

以上



オーストラリア ダーウィンにおけるガス液化プラント建設イメージ図